

	令和5年度行政事業レビューシート					( 文部科学省 )	
事業名	東アジア関係諸機関との連携強化				担当部局庁	大臣官房国際課	作成責任者
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	大臣官房国際課	大臣官房国際課長 北山 浩士	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-		
政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	13-2 国際協力の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-42.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	教育分野における国際協力、特に東南アジア諸国との協力・交流を一層進めることにより、東アジア関係諸機関との連携を通じた地域協力の強化を目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	SEAMEOが所在する東南アジア地域(ASEAN)は我が国における重要地域であり、ASEANと日本は50年にわたりアジア地域の平和と安定、発展と繁栄のために協力関係を築いてきた。教育分野においても連携するため、教育・文化・科学を通じた地域協力機関であるSEAMEOとの協力・交流を促進することにより、SEAMEOとの協力関係、ひいては東南アジア地域との協力関係を強固にする。						
事業概要 (5行程度以内)	東南アジア教育大臣機構(SEAMEO)に対し抛出し、ASEAN諸国におけるESD(持続可能な開発のための教育)の取組の推進に資する顕彰事業を実施する。さらに、SEAMEOが有する専門機関(センター)における研修への講師派遣、当該機構の会議(理事会、高級実務者会合等)への参加等を通じて、同機構との連携を強化する。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	7	7	6.5	6.4	6.9
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	7	7	6.5	6.4	6.9	
	執行額(G)		2.5	2.6	5.3		
	執行率(%) =(G)/(F)		36%	37%	82%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		36%	37%	82%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		国際交流・協力推進費		-		
	(目)	政府開発援助委員等旅費	2	2			
	(目)	政府開発援助ユネスコ事業等拠出金	2	2			
	(目)	政府開発援助職員旅費	2	2			
	(目)	政府開発援助諸謝金	0.7	0.7			
		その他	▲ 0	0			
計(A)		6.4	6.9				

活動内容① (アクティビティ)		東南アジア教育大臣機構(SEAMEO)に対し提出し、ASEAN諸国におけるESD(持続可能な開発のための教育)の取組の推進に資する顕彰事業を実施する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		SEAMEO加盟国の小中高等学校においてESDの取組を推進する。	SEAMEO加盟国の小中高等学校によるESDの優秀な取組に対する表彰を実施	活動実績	件	3	3	3	-	-	
				当初見込み	件	3	3	3	3	3	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	表彰を実施することにより、既にESDに取り組んでいる学校の活動を活性化する。また、表彰状や副賞等のインセンティブをつけることで、受賞を目指して新たに取組もうとする学校を増やし、ESDの普及に繋げる。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		SEAMEO加盟国におけるESDに取り組む学校を増やす。	SEAMEO-Japan ESD Award への応募校数	成果実績	校	181	282	278	-		
				目標値	校	76	118	180	-		
				達成度	%	238.2	239	154.4	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		出典:実績値 ※目標値は過去3か年分実績の平均値を参考に設定									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	ASEAN地域は国によって状況が異なり、ESDの浸透度合いも異なる。地域全体にESDを広めるために、応募方法の改善や受賞校の取組みをウェブサイト上で広く公開する等の工夫により、これまでESDが広まっていなかった国も含めたSEAMEO加盟国のすべての国からの応募を得、ASEAN地域全体におけるESDの普及を図る。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		SEAMEO加盟国のすべての国においてESDを推進する。	SEAMEO-Japan ESD Award への応募があった国数	成果実績	国	8	8	8	-		
				目標値	国	11	11	11	-		
				達成度	%	72.7	72.7	72.7	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		出典:実績値 ※目標値はSEAMEO全加盟国									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

活動内容② (アクティビティ)		SEAMEOが有する専門機関(センター)におけるセミナー・基調講演等への講師を派遣する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		SEAMEOが設置するセンターにおける セミナー・基調講演等への講師派遣を 通じて、同機構との連携を強化する。	SEAMEOが設置するセンター の要請に基づく専門家派遣数	活動実績	人	4	6	6	-	-
				当初見込み	人	6	6	6	6	6
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	SEAMEO及びSEAMEOが設置するセンターは日本に限らず世界の様々な国と協働している。その中でSEAMEOとの協力関係を強化するにはまずは日本のプレゼ ンスを高める必要がある。多くのセンターからの応募を得ることは日本への期待・関心の高さを示すため、応募数を成果指標とした。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		各センターにおける日本のプレゼンス を高める。	SEAMEOが設置するセンター からの応募数	成果実績	件	7	12	9	-	
				目標値	件	9	9	10	-	
				達成度	%	77.8	133.3	90	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		出典:実績値(令和5年3月末現在) ※目標値は過去3か年分実績の平均値を参考に設定								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	SEAMEOセンターが実施するセミナー・基調講演等はASEAN地域の教育・科学・文化分野を対象としており、例えば教科ごとの教員研修などが実施されている。日 本の教育の強みを生かした理数教育等をテーマとしたセミナー・基調講演等を支援し、より多くの者に参加してもらうことにより、ASEAN地域全体のソフトインフラの 整備に貢献する。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		日本の専門家が実施するセミナー・基 調講演等により東南アジア地域のソフ トインフラ整備に貢献する。	派遣した専門家が実施したセ ミナー・基調講演等の参加人 数	成果実績	人	870	651	998		
				目標値	人	300	498	593		
				達成度	%	290	130.7	168.3	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		出典:アンケートに記載された実績値。令和4年度に専門家派遣を行った5つの各SEAMEOセンターに、派遣後に参加人数をアンケートに記載してもらった数値の 集計結果 ※目標値は過去3か年分実績の平均値を参考に設定								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	-																																			
	URL	-																																			
	該当箇所	-																																			
事業所管部局による点検・改善																																					
点検結果	・アクティビティ①について、短期アウトカムについては測定指標は順調に推移している。 ・アクティビティ②について、長期アウトカムについては昨年度から153%増加。令和2～3年度は新型コロナウイルスの影響によりオンライン研修のみの実施となっていたが、令和4年度より従前の対面の研修に加え、オンライン研修も含めたハイブリッドでの開催もあったことから、参加人数が増加していることが分かった。なお、新型コロナウイルスの影響前である令和元年以前よりも参加者数は増加している。																			目標年度における効果測定に関する評価（令和〇年度実施）																	
	-																																				
改善の方向性	・アクティビティ①について、応募のある国に偏りがあることから、応募の少ない国からの応募を増やすために本事業の広報や応募方法の改善を図る。 ・アクティビティ②について、SEAMEOセンターでの幅広い派遣実績を確保するため、過去に派遣実績の無いセンターを優先的に派遣対象とするなどの工夫をしながら引き続き効果的な実施に努める。なお、オンライン研修の方が参加者は増えるが、SEAMEOセンターからの要望は対面研修が多く、また実際の教材や器具を使用した研修の方が効果が高いことから、今後も対面の研修を基本として一定の参加者数を確保できるよう努める。																																				
外部有識者の所見																																					
外部有識者による点検対象外																																					
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																																					
現状通り	この事業は、事業所管部局による自己点検及び行政事業レビューワーキングチームによる点検の結果を踏まえ、特段の見直しは要しないものと考えられる。設定した各アウトカムにおける達成度等を元に、引き続き事業の成果について確認しながら事業を実施すること。																																				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																																					
現状通り	本事業は、今後も現状通りに同様の取り組みを維持して実施するものであるが、旅費の高騰を踏まえ、委員等旅費と職員旅費分で合わせて45万円を増額。																																				
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																																				
	上記への対応状況																																				
	その他の指摘事項																																				
	上記への対応状況																																				
備考																																					
-																																					
関連する過去のレビューシートの事業番号																																					
平成23年度	新23-0005																																				
平成24年度	14																																				
平成25年度	437																																				
平成26年度	433																																				
平成27年度	428																																				
平成28年度	411																																				
平成29年度	419																																				
平成30年度	422																																				
令和元年度	文部科学省	-				0415																															
令和2年度	文部科学省					0416																															
令和3年度	2021	文科		20		0441																															
令和4年度	2022	文科		21		0446																															

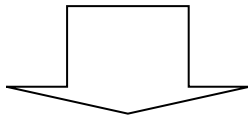
資金の流れ  
(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位：百万円)

文部科学省  
3百万円

政府開発援助諸謝金 0.5百万円  
政府開発援助職員旅費 1.0百万円  
政府開発援助委員等旅費 1.8百万円

専門家のSEAMEO地域センターへの派遣旅費、SEAMEO開催会議への参加旅  
費 等

【拠出金】



東アジア関係諸機関との連携強化  
2百万円  
A 東南アジア教育大臣機構(SEAMEO)

東南アジア教育大臣機構(SEAMEO)への拠出による関係強化

